

地域をつなぐ人

【伊勢】伊勢市の西川敢太さん(31)は、現在、約22畝でイチゴ「かおり野」と「章姫」を栽培している。イチゴ農家だった祖父母に憧れ就農し、今年で就農11年目だ。西川さんは昨年、産地生産基盤パワーアップ事業で国からの補助を受け、新しいハウスを建設し、環境制御システムを導入した。同システムにより、ハウス内の温度や湿度、二酸化炭素(CO₂)濃度

伊勢市 西川 敢太さん(31)



収穫したイチゴを手を持つ西川さん

イチゴ収量増に意欲

などをスマートフォンなどで常時把握できるようにになった。また、液肥の調整も行えるため、環境に合わせた施肥が可能となり、イチゴにストレスをかけず、ゴにストレスをかけず、に栽培できている。さらに、定期的に行い、肥料やハウスの管理などに関する情報

魅力だと話す。また、ハウスの横に設置している無人販売棚に訪れた人と話す機会もあり、感想をもらうことでやりがいを感じている。本年度産は、気温が高かったことで例年より生育が遅れ気味だったが、11月中下旬から気温も下がったことで順調に生育している。今後の目標について「クリスマス需要に向けて、病害虫の防除を行うなど管理を徹底していきたい。また、規模を拡大し収量を増やすことで、収入アップを目指したい。また、品質の向上も行っていきたい」と話す。